

**教育委員会**  
**生涯学習推進部**

**社会教育課**  
**青少年育成課**  
**図書館**

# 組織力の発揮

## 生涯学習推進部 社会教育課

### 組織の目的（どのような価値を提供するのか）

市民それぞれの多種多様なニーズに対応するためハード面やソフト面での環境を提供する。

### 価値を提供する上で、解決すべき課題

社会教育関連施設はいずれも老朽化が進み、修繕箇所が増加している。利用者の安全面や施設の適切な運営のためには、これらを早急に対処するべきである。

### 組織として持っている主な資源

人・ネットワーク	技術・知識	情報	もの	計画
体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、PTA協議会、家庭教育学級、家庭教育学級友の会、文化連盟、女性団体連絡協議会、摂南大学、日本語教室学びの場、文化財審査委員、文化財保護委員、文化財愛護推進委員、ボランティア(歴史解説・和わた)、学校支援地域本部	危険物取扱者	スポーツ及び社会体育施設全般に関すること、文化全般に関すること、女性団体に関すること、生涯学習に関すること、文化財ネットワーク	青年の家、教育文化会館、いわふね自然の森スポーツ・文化センター、総合体育施設、星田西体育施設	

### 資源を踏まえ行動指針から課題と考えること、その解決策

行動指針	課題	解決策
多様性ある	興味のある市民が限定的である。	出前講座などの積極活用やイベントPRなどで、参加者の裾野を広げる。
顔が見える(関係づくり)	文化、文化財活動には特殊な面があり、周囲からわかりにくい部分がある。	PR活動を積極的に行い、広く市民に呼びかける。
協働する(それぞれができること、役割分担)	事業が多岐にわたるため、幅広い分野に即応できる専門的な知識が要求されている。	経験による人材育成と資格者の確保に努める。
挑戦するあきらめない	活動の内容がマン初化してしまっている。	定期的な事業の開催において、内容の見直しを図り活性化に努める。
創造する新たな工夫	行政だけの仕事となりがちで、交野の独自性が発揮されていない。	市民の多様化するニーズに対応した市民参加型のイベント企画を行う。
持続する	それぞれの団体が高齢化し、リーダーの継承が難しい。	若年層の発掘、リーダーの育成、または養成講座などを行う。

### 課の資源を有効に活用するための取組現状と28年度目標

項目	目標	実施状況
1 情報の共有化や合議制など、課内会議の実施状況	目標:A (現状:A)	A:年20回以上 B:年10回以上 C:年5回以上 D:年4回以下
2 整理・整頓の徹底(課及び職員個々の状況)	目標:A (現状:B)	A:整理されている B:概ね整理されている C:半分程度が整理している D:整理されていない
3 課内で報告・連絡・相談の徹底	目標:A (現状:B)	A:全員が徹底している B:概ね徹底している C:半数程度が徹底している D:一部のみ
4 庁内の他部署との連携や協力体制	目標:A (現状:B)	A:十分に連携できている B:概ね連携できている C:一部で連携 D:連携が足りない
5 通常業務のマニュアル化	目標:A (現状:C)	A:マニュアル化完了 B:概ねマニュアル化完了 C:一部マニュアル化 D:マニュアル化未完了

施策名		スポーツ活動の充実						
部課等名	生涯学習推進部 社会教育課							
“かたのサイズ”をめざす像 (主要2つ)	スポーツを通じて、仲間意識を育み感動を分かち合っている。 いろいろな世代の人同士が交流し、楽しく刺激しあっている。							
施策の目的	市民が生涯にわたって、体力や年齢に応じてスポーツに親しみ、健康で明るいライフスタイルが実現できるよう、生涯スポーツの推進、競技スポーツの振興を図るとともに、スポーツ指導者の養成に努める。							
根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法							
関連条例	交野市立学校施設使用条例							
関連計画	市長戦略							
要綱等	社会教育事業費補助金交付要綱、団体に対する補助金の適正化に関する規則、 交野市スポーツ推進委員に関する規則、交野市立学校施設使用条例施行規則							
業務マニュアル								
ネットワーク	交野市体育協会、交野市スポーツ推進委員、交野市スポーツ少年団							
施策の目標	28年度	健康寿命の延伸に寄与するためのスポーツ活動の実施と支援に努める。						
	27年度	市民のニーズに応じた多様なスポーツが実施できるよう、スポーツ活動を支援する。						
行政内の目標	28年度	関連部局との協力、調整により目標施策達成のための効率化を図る。						
	27年度	関連部局との協力、調整により目標施策達成のための効率化を図る。						
財源見込み	国の負担 ( 0 千円) 大阪府の負担 ( 0 千円)							
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	評価 H26 H25	アウトプット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1	関係団体との連携 (生涯スポーツ)	体育協会や市民団体と連携し、各種大会等を実施	直補	選択	B B	体育協会加盟 団体数	26団体 26団体 26団体 387 千円 390 千円 375 千円	
2	学校体育施設の開放事業	市内小・中学校の体育館及びグラウンド等を開放	直	選択	B B	体育館・グラウンド 利用者数	210,000 人 207,000 人 210,241 人 1,544 千円 1,732 千円 1,480 千円	
3	スポーツ指導者等の養成	スポーツ推進委員等を対象としたスキルアップ研修を実施	直	選択	B B	講座の開催、 研修会の参加回数	15 回 10 回 10 回 994 千円 1,077 千円 717 千円	
4	市民スポーツデーの開催	毎年、体育の日を含む2日間に市内各所で実施	直補	選択	B B	参加者数	2,500 人 2,481 人 2,193 人 843 千円 1,033 千円 744 千円	
5	スポーツ活動の支援	地区総合体育大会の開催	直	選択	B B	参加種目数	10 種目 10 種目 10 種目 728 千円 1,236 千円 512 千円	

施策名		スポーツ・文化施設の充実						
部課等名		生涯学習推進部 社会教育課						
“かたのサイ ズ”をめざす像 (主要2つ)		いつでも身近なところで、学びやスポーツ活動等の体験ができる。 趣味や生きがいを持ち、日々楽しく心が充実している。						
施策の目的		指定管理者等による各施設の安全で効率的な維持・管理とともに、利用者のニーズの把握とニーズにあった自主事業の向上に努め、利用の促進を目的とする。						
根拠法令		地方自治法の一部を改正する法律						
関連条例		交野市立青年の家条例、交野市立いわふね自然の森スポーツ・文化センター条例、 交野市星田西体育施設設置条例、交野市立総合体育施設条例						
関連計画		市長戦略						
要綱等		交野市立青年の家条例施行規則、交野市立いわふね自然の森スポーツ・文化センター 条例施行規則、交野市星田西体育施設設置条例施行規則、交野市立総合体育施設の 管理運営に関する規則						
業務マニュアル								
ネットワーク								
施策の 目標	28年度	効率的かつ魅力ある施設の管理運営。						
	27年度	施設管理者との協議により魅力ある生涯学習の場づくりの促進を図る。						
行政内 の目標	28年度	市及び市民にとって有益性のある指定管理者の候補者の選定。						
	27年度	施設管理者との協力により施設の老朽化対策に努め、利用者の安全確保に努める。						
財源見込み		国の負担 ( 0 千円) 大阪府の負担( 0 千円)						
事業名	事業概要	実施 形態	位置 付け	評価 H26 H25	アウトプット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1	星田西体 育施設の 管理運営	指	選択	A A	利用者数 自主事業	16,000 人/5 件 16,000 人/5 件 15,607 人/5 件	8,535 千円 8,488 千円 8,387 千円	
2	総合体育施 設の管理 運営	指	選択	B A	利用者数 自主事業	400,000 人/20 件 368,000 人/16 件 271,702 人/11 件	78,133 千円 93,115 千円 267,746 千円	
3	星の里い わふねの 管理運営	指	選択	A A	利用者数 自主事業	105,000 人/15 件 104,000 人/10 件 92,238 人/14 件	33,504 千円 33,467 千円 33,558 千円	
4	青年の家 の管理運 営	指	選択	A A	利用者数 自主事業	125,000 人/6 件 123,000 人/6 件 123,238 人/5 件	54,375 千円 59,545 千円 59,781 千円	

施策名		文化活動の充実						
部課等名	生涯学習推進部 社会教育課							
“かたのサイズ”をめざす像 (主要2つ)	趣味や生きがいをもち日々楽しく心が充実する。 いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる。							
施策の目的	市民のニーズに応えられるよう各種文化教室や行事の開催など、生涯学習の機会と場を提供し、市民一人ひとりが生涯を通じて心身ともに健康で豊かな生活を過ごすことができよう文化活動の促進に努める。							
根拠法令	社会教育法							
関連条例								
関連計画	市長戦略、まち・ひと・しごと創生総合戦略							
要綱等	社会教育事業費補助金交付要綱、団体に対する補助金の適正化に関する規則							
業務マニュアル								
ネットワーク	交野市PTA協議会、交野市家庭教育学級、交野市家庭教育学級友の会、交野市文化連盟、交野市女性団体連絡協議会、摂南大学、日本語教室「学びの場」							
施策の目標	28年度	家庭教育学級事業の拡充等、生涯学習機会の提供。						
	27年度	市民による自主的な文化活動の支援と生涯学習機会の提供。						
行政内の目標	28年度	関係部局、関係団体との調整と協力による効率的な事業の実施。						
	27年度	協働事業と支援事業の整理の推進。						
財源見込み	国の負担 ( 0 千円) 大阪府の負担( 1,587 千円)							
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	評価 H26 H25	アウトプット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1	関係団体との連携強化 (社会教育関連)	文化・社会教育団体による運営	直補	選択	B B	文化連盟団体数 交野市女性団体 連絡協議会会員数 PTA 協議会 会員世帯数	58 団体 131 人 6,000 世帯  57 団体 130 人 5,944 世帯  58 団体 129 人 6,082 世帯	850 千円 1,005 千円 932 千円
2	文化活動促進・発表の場の提供	文化団体による運営	直	選択	B B	文化祭参加数	122 団体 120 団体 122 団体	1,724 千円 1,811 千円 1,732 千円
3	生涯学習機会の充実	府・大学による運営	直	選択	C B	ふみんネット パソコン教室	55 人 50 人 65 人 73 人	100 千円 93 千円 71 千円
4	家庭教育の充実	ボランティアによる運営	直	選択	B B	家庭教育学級参加者数 家庭教育学級友の会 参加者数	120 人 200 人 91 人 200 人 72 人 160 人	208 千円 120 千円 72 千円
5	日本語教室「学びの場」の開催	ボランティアによる運営	直	選択	B A	学びの場 参加者延べ人数 日本語交流会 参加者数	150 人 10 人 120 人 8 人 153 人 11 人	208 千円 440 千円 210 千円
6	学校支援地域本部事業	ボランティアによる学校支援	補	選択	B B	活動ボランティア 数 延べ人数	30,000 人 30,000 人 29,473 人	1,736 千円 1,799 千円 1,609 千円

施策名		文化財保護の充実						
部課等名		生涯学習部 社会教育課						
“かたのサイズ”をめざす像 (主要2つ)		歴史や文化財に触れて、まちの魅力を再確認している いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる						
施策の目的		我々の祖先が築き、今まで連綿と守ってきた文化遺産や伝統文化を次世代に継承していくために、専門的な見地から適切な保存と活用を図り、市民の理解と愛護意識を高めるとともに、ボランティアなどとの協働のもと、文化財保護活動を推進する。						
根拠法令		文化財保護法						
関連条例		交野市文化財保護条例						
関連計画								
要綱等		交野市指定文化財保存事業費補助金交付要綱 交野市文化財保存事業費補助金交付要綱						
業務マニュアル								
ネットワーク		文化財審査委員、文化財保護委員、文化財愛護推進委員、ボランティア(歴史解説・和わた)						
施策の目標	28年度	多くの市民が交野の文化財の価値を認識し、貴重な文化財が市民全体により保護されている状況を目指す。						
	27年度	多くの市民が交野の文化財について身近なところで学ぶことができるよう努める。						
行政内の目標	28年度	大規模開発事業が予定されることから、関連部署と連携を図りながら円滑に発掘調査を推進し文化財の保護に努める。						
	27年度	交野の文化財がわかりやすい展示に努める。						
財源見込み		国の負担 ( 1,000 千円) 大阪府の負担( 0 千円)						
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	評価 H26 H25	アウト プット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1 文化財保存活動	文化財の保護と市民に親しまれる歴史・文化環境を目指す	直	選択	B B	体験講座・出前講座・一般公開等の開催	11回 10回 15回	8,325 千円 4,037 千円 3,969 千円	
2 文化財の普及啓発	歴史民俗資料展示室公開や小学校への出前講座の開催	直	選択	B B	企画展回数 見学者数	5,400人 5,200人 5,382人	2,797 千円 2,673 千円 2,735 千円	
3 文化遺産の適切な維持保全	文化財の維持保全のため所有者等に対する補助	補	選択	B B	補助金交付数	2件 2件 2件	1,247 千円 360 千円 360 千円	
4 埋蔵文化財発掘調査の実施	埋蔵文化財包蔵地内外での発掘調査や区画整理事業に伴う試掘調査を行う。	直委	選択	B B	事前確認発掘調査	— — 21件	4,029 千円 8,739 千円 24,899 千円	

# 組織力の発揮

## 生涯学習推進部 青少年育成課

### 組織の目的（どのような価値を提供するのか）

未来を担う青少年に安全かつ安心して活動できる場を提供し、興味・関心の幅を広げ、夢や目標に向かって取り組める環境を整える。

### 価値を提供する上で、解決すべき課題

安全・安心な居場所づくりとして、行政や家庭、地域がより一層協力体制をとることが必要

### 組織として持っている主な資源

人・ネットワーク	技術・知識	情報	もの	計画
青少年指導員、子ども会育成連絡協議会、子どもの安全見まもり隊、こども110番の家、青少年音楽団体、発明クラブ、子どもプラン実行委員会、摂南大学、放課後児童会運営委員会	合唱 吹奏楽 チアリーディング 工作技術 子どもの安全・見守り 体験活動(キャンプ、防災等)	各種関係団体活動に関すること	第1児童センター 野外活動センター 放課後児童会	

### 資源を踏まえ行動指針から課題と考えること、その解決策

行動指針	課題	解決策
多様性ある	青少年の生活環境の違いや価値観の違いへの対応	より多くの青少年が充実感を得られるよう、意見や希望を引き出す。
顔が見える(関係づくり)	関係団体の役員以外との連携	事業等で積極的にコミュニケーションを図り、良好な関係を築く。
協働する(それぞれができること、役割分担)	各団体の自立	事務局と各団体との関係を見直し、自立を促す。
挑戦するあきらめない	多種多様なニーズへの対応	情報収集して、可能な限り新しい事を試みる。
創造する新たな工夫	事業内容の定例化	事業を見直し、大学や市民団体と連携し新たな活動を試みる。
持続する	各団体の構成員の高齢化	次世代の人材を発掘し、後継者を育成していく。

### 課の資源を有効に活用するための取組現状と28年度目標

項目	目標	実施状況
1 情報の共有化や合議制など、課内会議の実施状況	目標:A (現状:A)	A:年20回以上 B:年10回以上 C:年5回以上 D:年4回以下
2 整理・整頓の徹底(課及び職員個々の状況)	目標:B (現状:C)	A:整理されている B:概ね整理されている C:半分程度が整理している D:整理されていない
3 課内で報告・連絡・相談の徹底	目標:B (現状:C)	A:全員が徹底している B:概ね徹底している C:半数程度が徹底している D:一部のみ
4 庁内の他部署との連携や協力体制	目標:A (現状:B)	A:十分に連携できている B:概ね連携できている C:一部で連携 D:連携が足りない
5 通常業務のマニュアル化	目標:B (現状:C)	A:マニュアル化完了 B:概ねマニュアル化完了 C:一部マニュアル化 D:マニュアル化未完了

施策名		青少年の健全な育成						
部課等名	生涯学習推進部 青少年育成課							
“かたのサイズ”をめざす像 (主要2つ)	まちなかに元気な子どもたちの笑顔があふれている 地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている							
施策の目的	青少年の安全・安心な活動を確保し、創造性や協調性・生きる力を育む環境づくりに取り組むため、ボランティア活動や生活・自然体験活動などの充実に努める。							
根拠法令	社会教育法、児童福祉法							
関連条例	交野市立児童センター設置条例							
関連計画								
要綱等	交野市青少年指導員設置要綱、交野市青少年指導員会規約、交野市子ども会育成連絡協議会規約、交野市子どもプラン事業実施要綱							
業務マニュアル								
ネットワーク	青少年指導員、子ども会育成連絡協議会、子どもの安全見まもり隊、こども110番の家、青少年音楽団体、発明クラブ、子どもプラン実行委員会、摂南大学							
施策の目標	28年度	青少年が放課後に安心・安全に過ごすことのできる環境づくり						
	27年度	青少年が放課後に安心・安全に過ごすことのできる環境づくり						
行政内の目標	28年度	業務のマニュアル化による業務効率化及びノウハウの継承						
	27年度	データ及び文書の適切な管理による業務効率化						
財源見込み	国の負担 ( 千円) 大阪府の負担( 1,165 千円)							
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	評価 H26 H25	アウトプット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1 成人式	成人式の開催	直	選択	A A	新成人が社会人としての自覚が芽生えるような式典の開催		958 千円 979 千円 939 千円	
2 青少年活動の充実	①青少年音楽団 ②少年少女発明クラブ ③子どもプラン ④中学生理科セミナー	直補	選択	A A	参加者数	H28:270 人 H27:246 人 H26:259 人	6,069 千円 6,042 千円 5,606 千円	
3 放課後子ども教室推進事業	各小学校フリースペース事業	直	選択	B B	参加者数	H28:35,250 人 H27:11,567 人 H26:10,678 人	1,696 千円 2,446 千円 1,535 千円	
4 子どもの安全見守り事業	①こども110番運動 ②子どもの安全見守り隊 ③青色防犯パトロール	直	選択	B B	協力者数	H28:3,600 人 H27:3,515 人 H26:3,771 人	1,003 千円 1,000 千円 993 千円	
5 相談・指導体制の充実	①青少年指導員 ②子ども会育成連絡協議会	直補	選択	B B	事業・活動回数	H28:90 回 H27:90 回 H26:87 回	1,826 千円 1,804 千円 1,816 千円	
6 市民ふれあい館事業	市民ふれあい館事業の抜本的な見直し	直	選択	A D	H28 2館廃止 H27 3館廃止(内2館は集会所へ) H26 4館廃止(内2館は放課後児童会へ)		1,594 千円 6,760 千円 5,651 千円	
7 交野市立第1児童センター管理運営	(一財)交野市体育文化協会による管理・運営	指	選択	E E	指定管理者による適切な管理運営		6,898 千円 6,898 千円 7,502 千円	
8 野外活動センター管理運営	施設の維持管理	直	選択	D D	施設の今後のあり方についての検討		488 千円 487 千円 438 千円	



施策名		放課後児童会の運営					
部課等名	生涯学習推進部 青少年育成課						
“かたのサイズ”をめざす像 (主要2つ)	安心して子どもを生み育てることができる 働くことと、家族や人生などとのバランスを大切にしている						
施策の目的	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童(1～6年生)に対し、児童の安全を確保し、異学年との集団生活を通じて生活指導を行い児童の健全育成を助長する。						
根拠法令	児童福祉法						
関連条例	交野市放課後児童会条例						
関連計画							
要綱等	交野市放課後児童会条例施行規則						
業務マニュアル	児童会危機管理マニュアル						
ネットワーク	放課後児童会運営委員会						
施策の 目標	28年度	待機児童の解消とともに、条例で定める基準を満たした運営ができており、児童が安全で安心して過ごせる居場所づくりとともに保護者にとっても安心して働くことのできる環境					
	27年度	待機児童の解消とともに、条例で定める基準を満たした運営ができており、児童が安全で安心して過ごせる居場所づくりとともに保護者にとっても安心して働くことのできる環境づくり					
行政内 の目標	28年度	子ども子育て支援新制度により基準条例を制定し、5年間の経過期間中(～H31年度)に、児童一人当たりの面積基準など、基準を満たすことができるよう環境整備を進める。					
	27年度	子ども子育て支援新制度により基準条例を制定し、5年間の経過期間中(～H31年度)に、児童一人当たりの面積基準など、基準を満たすことができるよう環境整備を進める。					
財源見込み	国の負担 ( 38,022 千円) 大阪府の負担( 38,022 千円)						
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	評価 H26 H25	アウト プット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額
1 放課後児童会	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童への適切な遊びや生活の場の提供	直	選択	B B	利用者数	H28:850 人 H27:690 人 H26:573 人	140,080 千円 134,448 千円 131,872 千円

#### 放課後児童会の実施場所

児童会	実施場所	住所	電話番号	定員
交野 児童会	交野小学校内	私部 1-54-1	892-0830	80 名
交野 児童会分室	交野小学校内	私部 1-54-1	810-2221	40 名
星田 児童会	星田児童会	星田 1-49-11	891-0096	40 名
郡津 児童会	郡津小学校内	郡津 4-13-1	891-4404	50 名
郡津 児童会分室	郡津児童会分室	私部 4-11-8	810-2045	40 名
岩船 児童会	岩船小学校内	森北 1-25-1	893-4602	80 名
倉治 児童会	倉治小学校内	倉治 1-15-1	892-6100	80 名
妙見坂 児童会	妙見坂小学校内	妙見坂 7-20-1	893-1401	80 名
長宝寺 児童会	長宝寺小学校内	郡津 1-43-1	892-6201	80 名
旭 児童会	旭小学校内	星田 4-18-1	893-6336	80 名
藤が尾 児童会	藤が尾小学校内	星田北 2-45-1	893-0240	80 名
私市 児童会	私市小学校内	私市 9-5-10	893-4601	80 名

# 組織力の発揮

## 生涯学習推進部 図書館

### 組織の目的（どのような価値を提供するのか）

幼児から高齢者までさまざまな年代の市民が、本とふれあうことによって、心豊かな時間を持ち、必要な情報を収集できる環境を整える。

### 価値を提供する上で、解決すべき課題

より多くの市民が図書館(室)を利用できるよう、インターネットや移動図書館等を活用して効率的、効果的な運営をする。

### 組織として持っている主な資源

人・ネットワーク	技術・知識	情報	もの	計画
ボランティアグループ、地域家庭文庫(6団体)、交野市図書館協議会(学校教育・社会教育・家庭教育各関係者及び学識経験者)	図書館運営、図書館サービスに関すること	図書館資料に関すること 読書活動推進に関すること	倉治図書館、青年の家図書室、星田コミュニティーセンター図書室、第1児童センター(幾野)図書室、移動図書館	第2・3次交野市子ども読書活動推進計画

### 資源を踏まえ行動指針から課題と考えること、その解決策

行動指針	課題	解決策
多様性ある	市民にはそれぞれ多岐にわたる興味や問題意識がある。	多種多様な資料を幅広く収集し、提供する。
顔が見える(関係づくり)	図書館を身近に感じてもらう。	図書館内外の事業において図書館サービスをPRする。
協働する(それぞれができること、役割分担)	ボランティアとの協働を進める必要がある。	ボランティアと情報交換を行うとともに、ボランティア活動を支援する。
挑戦するあきらめない	新しい形の図書館サービスを試みる。	インターネットによる図書館サービスを充実させる。
創造する新たな工夫	移動図書館を含め、各図書施設を充分活用する必要がある。	効率的かつ効果的な図書館運営を行う。
持続する	図書館サービスの維持・充実のために、業務量が年々増加し、すべてに対応することが困難な状況にある。	職員の能力・資質の向上に努め、組織の活性化や業務精査により図書館サービスの維持・充実を図る。

### 課の資源を有効に活用するための取組現状と28年度目標

項目	目標	実施状況
1 情報の共有化や合議制など、課内会議の実施状況	目標:B (現状:C)	A:年20回以上 B:年10回以上 C:年5回以上 D:年4回以下
2 整理・整頓の徹底(課及び職員個々の状況)	目標:A (現状:B)	A:整理されている B:概ね整理されている C:半分程度が整理している D:整理されていない
3 課内で報告・連絡・相談の徹底	目標:A (現状:B)	A:全員が徹底している B:概ね徹底している C:半数程度が徹底している D:一部のみ
4 庁内の他部署との連携や協力体制	目標:A (現状:C)	A:十分に連携できている B:概ね連携できている C:一部で連携 D:連携が足りない
5 通常業務のマニュアル化	目標:A (現状:C)	A:マニュアル化完了 B:概ねマニュアル化完了 C:一部マニュアル化 D:マニュアル化未完了

施策名		図書館活動の充実						
部課等名		生涯学習推進部 図書館						
“かたのサイズ”をめざす像 (主要2つ)		趣味や生きがいをもち日々楽しく心が充実している。 五感を大切にして、情緒豊かな時間を味わっている。						
施策の目的		市民の教養・趣味を育むとともに、知的好奇心に応える。 子どもの読書環境を整え、読書活動を推進する。						
根拠法令		図書館法						
関連条例		交野市立図書館条例						
関連計画		第2・3次交野市子ども読書活動推進計画						
要綱等		貸出取扱要綱、視聴覚資料に関する要綱、除籍基準等						
業務マニュアル		相互貸借借受視聴覚資料取扱マニュアル						
ネットワーク		ボランティアグループ、地域家庭文庫、交野市図書館協議会						
施策の 目標	28年度	さまざまな年代の市民が、本とふれあうことによって、心豊かな時間を持ち、必要な情報を収集できる環境を整える。						
	27年度	さまざまな年代の市民が、本とふれあうことによって、心豊かな時間を持ち、必要な情報を収集できる環境を整える。						
行政内 の目標	28年度	北河内6市や大阪府下、その他の自治体の図書館等との連携を図りつつ情報の共有に努め、図書館サービスを向上させていく。						
	27年度	北河内6市や大阪府下、その他の自治体の図書館等との連携を図りつつ情報の共有に努め、図書館サービスを向上させていく。						
財源見込み		国の負担 ( 0千円) 大阪府の負担( 179千円)						
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	評価 H26 H25	アウト プ ツ ツ 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1 資料の収集・提供	利用者の多様なニーズに応えることができるよう、資料を収集し、提供する。	直	選択	B B	受入冊数 貸出冊数	12,000/450,000 12,000/430,000 11,197/441,117 (冊) (冊)	15,500千円 15,500千円 15,323千円	
2 図書館情報ネットワークシステムの充実	図書館情報ネットワークシステムを充実させる。	直	選択	B B	Web予約冊数	22,000 20,000 11,421(冊)	7,393千円 7,808千円 7,065千円	
3 図書館利用窓口の充実	図書館(室)・移動図書館車の効率的、効果的な運営に努める。	直	選択	B B	利用者数 貸出冊数	140,000/450,000 139,000/430,000 127,526/441,117 (人) (冊)	9,731千円 9,652千円 9,020千円	
4 子どもの読書活動推進	子どもと読書を結びつける機会を提供する。 学校図書館を支援する。	直	選択	B B	おはなし会 おたのしみ会 ビデオ上映会 ブンブン劇場	46/4/2/2 46/4/2/2 46/4/2/2 (回)	3,733千円 3,370千円 3,649千円	
5 ボランティアとの協働	ボランティア活動を支援し、連携・協働を図る。	直委	選択	B B	対面朗読用資料の貸出冊数	30 30 25(冊)	0千円 0千円 0千円	

